

款	商工費	項	商工費
---	-----	---	-----

事業名	土浦全国花火競技大会開催事業 (継続)	担当	産業経済部 商工観光課
-----	---------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		85,000	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 地域の魅力を生かした観光のまちづくり
	一般財源	85,000		
全体事業費	85,000	事業期間	令和5年度	

事業の目的

本市が誇る土浦全国花火競技大会の一層の充実を図り、煙火技術の向上に貢献するとともに、花火のまち「土浦」であることを全国に発信して、本市のイメージアップと観光による交流人口の拡大を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

大正14年に神龍寺の住職であった故秋元梅峯師が、霞ヶ浦海軍航空隊の殉職者の慰霊や関東大震災後の不況で疲弊した地元経済の活性化を図ることなどを目的に始められ、今年で第92回を迎える歴史ある大会です。

【今年度事業内容】

- ◎第92回土浦全国花火競技大会については、土浦全国花火競技大会実行委員会で決定します。
- ◎競技内容：スターマインの部（22台）、10号玉の部（45発）、創造花火（22組）
- ◎余興花火：レクチャー花火、花火師登場、ワイドスターマイン「土浦花火づくし」、エンディング花火、広告仕掛花火
- ◎安全対策：第91回大会をベースに、花火打上の安全対策とともに、雑踏対策、新型コロナウイルス感染症対策などを最重要課題として取り組み、安全な大会運営に努めます。

【今後の予定】

- ◎競技大会としての特性を活かし、他の大会との差別化を図り、魅力ある大会を目指します。
- ◎節目となる2年後の花火100年、8年後の100回大会に向けた取り組みを行うとともに、未来に繋いでいけるような運営体制を構築します。



ワイドスターマイン「土浦花火づくし」

期待される効果・成果目標等

本事業は、全国からの関心も高く、県内でも最大の集客を誇るイベントであるため、大会を開催することにより本市のイメージアップが図られます。
また、例年全国各地より大勢の観客が訪れることから、大きな経済効果も見込まれ、本市の経済活性化などにも寄与します。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業 (継続)
-----	----------------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

予算額		648,362	リーディングプロジェクト	4 安心な市民生活を支える災害に強いまちづくり
財源内訳	国県支出金	316,253	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	295,900		
	その他		政策方針	1 時代の変化に対応した防災のまちづくり
	一般財源	36,209		
全体事業費		648,362	事業期間	令和5年度

事業の目的
 橋梁の耐震性の向上を図り、災害時における緊急輸送道路等を確保するとともに、長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ予防的な修繕を行うことで道路交通の安全性を確保します。


事業の概要

【これまでの経緯】
 耐震化予定の橋梁33橋のうち、25橋について落橋防止等を施工しました。
 また、長寿命化修繕計画に基づき、26橋について修繕工事を施工しました。

【今年度事業内容】

(単位：千円)

事業概要	事業費
桜川3号橋（水郷橋）耐震・長寿命化設計委託	61,687
神立小学校前歩道橋外1橋長寿命化設計委託	14,149
歩道橋長寿命化修繕計画（見直し）策定委託	4,928
東真鍋1号橋（木田余立体橋）耐震・長寿命化工事	69,850
新川6号橋上部復元工事	57,860
常磐線3号橋（二番橋）架替JR工事委託外	439,888
合計	648,362



東真鍋1号橋（木田余立体橋）
落橋防止施工後

【今後の予定】
 令和9年度までに、31橋の耐震化工事及び32橋の修繕工事を計画しています。

期待される効果・成果目標等

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を将来にわたり確保することができます。
 ※令和4年度末進捗率（予定）：
 耐震対策事業 75.8%（25/33）、長寿命化修繕事業 10.8%（26/240）

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	道路新設改良事業	(継続)
-----	----------	------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

予算額	400,000	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	75,000	基本目標 8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	282,100	
	その他		政策方針 2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	42,900	
全体事業費	400,000	事業期間	令和5年度

事業の目的

幹線道路（Ⅰ級幹線、Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事、歩道整備や生活道路・狭隘な市道の拡幅工事、舗装工事、交通安全施設工事等を計画的に進めることにより、道路機能の向上と市全体の道路網確立を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

道路延長（令和3年度末現在） L = 1,531,509m（6,956路線）
うち改良済延長 L = 744,208m（改良率48.59%）

【今年度事業内容】

(単位：千円)

区分	概要	事業費
道路改良工事費	22路線 L = 2,165m	262,925
測量設計委託料	15路線 L = 3,520m	51,040
公有財産購入費	9路線	16,830
物件移転補償費	19路線(電柱移設含む)	54,216
役務費	鑑定料、登記料	11,990
事務費等		2,999
合計		400,000



整備前



整備後

市道真鍋21号線 整備状況

【今後の予定】

住みよいまちの実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。

期待される効果・成果目標等

日常生活の利便性向上及び地域環境の改善を図るとともに、歩行者と自転車の安全を確保し、交通事故防止に寄与します。
また、緊急車両等の通行を可能にし、市民の安全を守ります。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業（継続）
-----	--------------------------

担当	建設部 下水道課
----	-------------

(単位：千円)

予算額		69,000	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	39,386	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一般財源	29,614		
全体事業費		69,000	事業期間	令和5年度

事業の目的

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。

事業の概要

◎都市下水路整備事業

【これまでの経緯】

平成22年度から、西根竹の入都市下水路整備工事を実施しています。

【今年度事業内容】

西根竹の入都市下水路整備工事 L = 50m

【今後の予定】

西根竹の入都市下水路については、引き続き、年次計画により整備します。

◎小規模排水路整備事業

【これまでの経緯】

田中三丁目・虫掛地内小規模排水路整備工事を実施しました。

【今年度事業内容】

田中三丁目地内小規模排水路整備工事 L = 90m

虫掛地内小規模排水路整備工事 L = 40m

【今後の予定】

引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

期待される効果・成果目標等

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	地域公共交通確保維持改善事業 (継続)	担当	都市政策部 都市計画課
-----	---------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額	91,515	リーディングプロジェクト	3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	基本目標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債		政策方針
	その他	事業期間	
	一般財源		91,515
全体事業費	91,515		

事業の目的

地域公共交通計画に基づき、「利用者が地区特性に応じた公共交通で快適に移動できるまち」の実現に向けた取り組みを推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・令和4年3月 土浦市地域公共交通計画策定（計画期間：令和4年度～令和8年度）
- ・令和4年4月～ 土浦市地域公共交通計画に基づく施策の実施（公共交通マップ、マイ時刻表サービス、既存公共交通の維持、新規コミュニティ交通導入等）

【今年度事業内容】

- ・地域公共交通計画に位置付けたコミュニティ交通導入促進地域における新規コミュニティ交通の実証運行
- ・つちうらM a a Sの実証実験への参画
- ・地域、事業者、関係団体等との協働による公共交通ネットワークの確保・維持・改善等
- ・交通弱者への移動支援（三輪自転車購入の補助）

(単位：千円)



つちまるバス

概要	事業費
協議会負担金（地域公共交通確保維持改善事業、公共交通PR事業等）	60,113
バス運行対策費負担金（地域幹線系統への県との協調補助）	3,113
つちうらM a a S推進協議会負担金	23,942
霞ヶ浦広域バス・千代田神立ライン運行補助金	4,097
三輪自転車購入補助金	250
合計	91,515

【今後の予定】

新規コミュニティ交通の導入を進めるとともに、公共交通事業者への支援を通して既存路線の維持を図ることで、公共交通不便地域の解消を目指します。

期待される効果・成果目標等

利用しやすい公共交通環境の整備、各公共交通の役割分担と連携強化、地域・事業者・行政の協働による公共交通の確保・維持・改善によって、公共交通利用者の満足度の向上、公共交通利用者数の維持、公共交通不便地域の解消に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	都市計画マスタープラン策定（見直し）事業／ 立地適正化計画策定（見直し）事業	（継続）	担当	都市政策部 都市計画課
-----	---	------	----	----------------

（単位：千円）

予算額	13,175	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	2,690	基本目標 8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債		
	その他		政策方針 3 時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
	一般財源	10,485	
全体事業費	22,328	事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度

事業の目的

都市計画マスタープランの計画期間20年（平成26年度～令和15年度）の中間期、及び立地適正化計画（平成29年度～令和15年度）の概ね5年毎の見直し時期に当たり、両計画の整合を図るとともに、上位計画の改定や社会経済情勢等の変化に対応するため、将来の都市像、都市づくりの目標を明示し、総合的な都市づくりの基本方針を示します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・まちづくりアンケート調査などを実施し、本市の現況と課題について整理しました。
- ・都市計画マスタープランでは、都市づくりの目標、都市づくりの方針（全体構想）の見直しを進めました。
- ・立地適正化計画では、基本的な方針の見直しを進めました。

【今年度事業内容】

- ・都市計画マスタープランでは、都市づくりの方針（全体構想）を踏まえ、地区づくりの方針（地区別構想）などの見直しを進めます。
- ・立地適正化計画では、居住及び都市機能の誘導施策の方針などの見直しを進めます。
- ・パブリックコメントを実施し、令和6年3月の計画策定（見直し）に取り組みます。

（単位：千円）

区分	概要	金額
報酬・報償費	都市計画審議会運営費	128
委託料	計画策定（見直し）委託料	11,670
その他	会計年度任用職員報酬等	1,377
	合計	13,175



【今後の予定】

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画を踏まえ、各種施策の推進を図ります。

期待される効果・成果目標等

都市計画マスタープランの策定（見直し）により、新しい時代に向けた本市の一体的・総合的かつ体系的な都市づくりの基本的方針を示すとともに、立地適正化計画の策定（見直し）により、都市の活力と市民の利便性を維持し、いつまでも暮らしやすいまちを実現する都市構造の構築を推進することで持続可能なまちづくりに寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	スマートインターチェンジ整備事業（継続）	担当	都市政策部 都市計画課
-----	----------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		7,040	リーディング プロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	7,040			
全体事業費	1,467,151	事業期間	令和2年度～令和10年度		

事業の目的

スマートインターチェンジは、地域生活の充実や地域経済活性化が期待できることから、整備に向けた検討を行います。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ◎令和2年度 スマート I C 設置可能性調査の実施
必要性の検討、設置候補地位置の検討、概略設計
- ◎令和3年度 スマート I C 設置可能性調査の実施
交通量推計、整備効果(社会的便益)検討、概略設計、国の相談会へ参加
- ◎令和4年度 スマート I C 設置検討調査の実施
現況平面図作成、予備設計、交通量推計、整備効果(社会的便益)検討、国の相談会への参加

【今年度事業内容】

スマート I C 設置における検討調査及び国・県等関係機関との協議を進めます。

(単位：千円)

概 要	事業費
スマート I C 設置検討調査等委託	7,040

【今後の予定】

準備段階調査箇所選定及び新規事業化に向け、国や N E X C O 等の関係機関と協議を実施しながら、幾何構造や整備効果等の検討を進めます。

期待される効果・成果目標等

スマートインターチェンジの整備により、高速道路の利便性向上が図られるほか、中心市街地へのアクセス向上や商業観光の振興、物流の効率化等による地域経済の活性化への効果が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	歴史的風致維持向上計画推進事業（継続）	担当	都市政策部 都市計画課
-----	---------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額	3,904	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり	
財源内訳	国県支出金	基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり	
	地方債		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	その他 一般財源			3,904
全体事業費	8,374	事業期間	令和4年度～令和5年度	

事業の目的

歴史的風致維持向上計画を策定し、国の支援等を活用しながら計画に位置付けた措置を講ずることにより、本市における固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地環境（歴史的風致）の維持及び向上を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和4年度は、本市の歴史的風致の維持及び向上に関する方針等について整理を行い、関係省庁との協議を踏まえつつ計画作成を進めました。

【今年度事業内容】

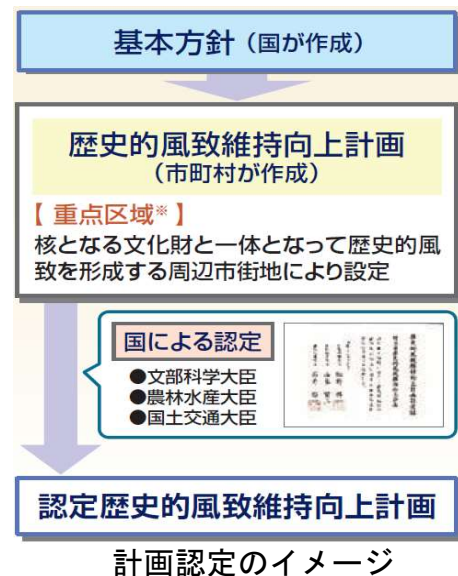
令和5年度も、引き続き関係省庁との協議を行いながら計画作成を進め、国による認定を目指します。

(単位：千円)

概要	事業費
計画策定委託料	3,557
協議会運営等	347
合計	3,904

【今後の予定】

令和5年度中の計画認定を目指し、検討を進めるとともに、計画に位置付けた施策の担当部署と連携し、施策の推進及び進捗管理を行います。



期待される効果・成果目標等

歴史的風致維持向上計画を策定し、計画に位置付けた施策を総合的かつ計画的に講ずることにより、本市の貴重な資産である歴史的風致の維持及び向上を図り、都市の健全な発展及び文化の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業 (継続)
-----	----------------------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

予算額		211,146	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金		基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
一般財源	211,146				
全体事業費		5,630,000	事業期間	平成24年度～令和5年度	

事業の目的
 神立駅周辺地区において、隣接するかすみがうら市と一部事務組合を設立し、土地区画整理事業により神立駅西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進します。

事業の概要

【これまでの経緯】
 令和元年度 第3・4・5工区工事着工、神立停車場線暫定供用開始
 令和2年度 第6・7・8工区工事着工
 令和3年度 第9・10工区工事着工、駅前西通り線暫定供用開始
 令和4年度 第11・12工区工事着工、神立駅西口駅前広場一部供用開始

【今年度事業内容】
 事業完了に向けた、換地処分・清算手続きを実施します。

(単位：千円)

事業内容	事業費
土地区画整理事業負担金	49,410
事務費・派遣職員人件費	30,900
土地区画整理事業清算負担金	130,836
合 計	211,146

【今後の予定】
 令和5年度内の事業完了を目指し、事業の推進に努めます。



神立駅西口駅前広場完成予想図

期待される効果・成果目標等
 神立駅西口駅前広場、駅前西通り線、神立停車場線等の都市施設を一体的に整備することにより、本市の北の拠点として、ふさわしい市街地の形成に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業（継続）	担当	都市政策部 都市整備課
-----	--------------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		89,463	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	12,400	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	時代の変化に応じた持続可能な都市の形成
一般財源	77,063				
全体事業費		89,463	事業期間	令和5年度	

事業の目的

インターチェンジ周辺地区を、広域交通ネットワークを活かした産業発展を促す拠点として適切な土地利用の誘導を行うことにより、民間事業所等の立地促進を図ります。

事業の概要


【これまでの経緯】
令和4年度は、事業化検討を進めることとした桜土浦インターチェンジ周辺地区について、民間開発事業者ヒアリングにより産業系土地利用の可能性を確認するとともに、民間事業者アンケートを実施し、企業の立地ニーズを確認しました。
あわせて、地権者合意形成のため、説明会を開催しました。

【今年度事業内容】

- ・事業化のための基礎的な調査や事業採算性の検討を行います。
- ・地権者説明会、意識調査、個別訪問等により、地権者の合意形成を図り、地権者組織の設置並びに事業化に向けた取組を推進します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	事業化検討調査委託料	83,105
需用費等	事務費（旅費・消耗品費等）	6,358
合計		89,463



事業化検討エリア

【今後の予定】
適正な土地利用の誘導を図り、産業発展を促す拠点整備を推進します。

期待される効果・成果目標等

インターチェンジ周辺への土地利用の誘導により、民間事業所等の立地促進を図ることで、地域経済の活性化や雇用の場の創出など、多くの経済効果が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業	(継続)
-----	---------------	------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

予算額	232,550	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり	
財源内訳	国県支出金	117,700	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	64,100			
	その他	29,458	政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	21,292			
全体事業費	2,152,705	事業期間	平成24年度～令和7年度		

事業の目的

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、南北方向の道路網強化を図るとともに、近隣の学校への通学路として、児童・生徒の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】
令和4年度は、用地買収及び物件補償を実施しました。

【今年度事業内容】
令和5年度は、引き続き用地買収及び物件補償を実施するとともに一部工事に着手します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	24,000
補償補填及び賠償金	物件補償	21,000
役務費	不動産鑑定 補償費算定	1,500
工事請負費	道路改良工事外	186,000
需用費	消耗品費	50
合計		232,550

【今後の予定】
令和7年度末までの事業完了を目指します。

期待される効果・成果目標等

神立駅東部地区及び隣接するかすみがうら市と、おおつ野地内の円滑な交通体系が構築され、総合病院である土浦協同病院へのアクセス向上が図られます。
また、歩行者・自転車の安全な通行帯が確保されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	荒川沖木田余線（Ⅱ期）整備事業（継続）
-----	---------------------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

(単位：千円)

予算額	424,964	リーディングプロジェクト	3 暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり	
財源内訳	国県支出金	152,550	基本目標	8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	242,800		
	その他		政策方針	2 魅力的な都市環境・住環境の創出
一般財源	29,614			
全体事業費	4,028,919	事業期間	平成30年度～令和9年度	

事業の目的
 県道土浦港線（県事業区間除く）から都市計画道路真鍋神林線までの3車線区間（Ⅱ期：L=630m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】
 令和4年度は用地測量等を実施しました。

【今年度事業内容】
 令和5年度は用地買収及び物件補償等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	48,000
補償補填及び賠償金	物件補償	324,000
役務費	不動産鑑定 補償費算定	49,890
使用料及び賃借料	借地料	2,574
工事請負費	交通安全施設設置工事	500
合計		424,964

【今後の予定】
 令和9年度までの事業完了を目指します。

期待される効果・成果目標等
 交通渋滞の要因である3車線区間を4車線化することにより道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、市街地の交通渋滞緩和及び安全性の向上が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	木田余神立線街路事業（Ⅱ期）	（継続）
-----	----------------	------

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

（単位：千円）

予算額	479,736	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり	
財源内訳	国県支出金	241,175	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	177,500			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
一般財源	61,061				
全体事業費	1,132,018	事業期間	平成24年度～令和7年度		

事業の目的

都市計画道路中貫白鳥線から北側の未整備区間を整備し、南北軸の道路ネットワーク強化を図るとともに、神立小学校の通学路として、児童の安全を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】
令和4年度は、用地買収及び物件補償等を実施しました。

【今年度事業内容】
令和5年度は、引き続き用地買収及び物件補償等を実施するとともに一部工事に着手します。

（単位：千円）

区分	概要	事業費
公有財産購入費	用地買収	21,500
補償補填及び賠償金	物件補償	400,000
役務費	不動産鑑定 補償費算定	9,746
工事請負費	道路改良工事	48,000
委託料等	草刈委託外	490
合計		479,736

【今後の予定】
令和7年度末までの事業完了を目指します。

期待される効果・成果目標等

歩行者の安全な通行帯が確保されるほか、近隣にある救急告示病院である神立病院、指定緊急避難場所である神立公園へのアクセス向上が図られます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	都市公園等長寿命化事業	(継続)
-----	-------------	------

担当	都市政策部 公園・施設管理課
----	-------------------

(単位：千円)

予算額		49,302	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり
財源内訳	国県支出金	24,651	基本目標	8	効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債	22,100			
	その他		政策方針	2	魅力的な都市環境・住環境の創出
一般財源	2,551				
全体事業費		49,302	事業期間	令和5年度	

事業の目的

都市における生活環境を改善し、緑豊かで安全・快適な都市環境を創造する等、良好な都市基盤を形成します。


事業の概要

【これまでの経緯】
公園施設の劣化や損傷を未然に防止しながら、日常的な維持管理や点検を行い、計画的かつ効率的に公園施設の管理を実施してきました。
令和4年度は、乙戸沼公園の大型複合遊具の更新に向けた設計を行いました。

【今年度事業内容】
令和4年度に実施した設計に基づき、複合遊具の更新工事を実施します。また、複合遊具の更新に当たっては、ユニバーサルデザインやインクルーシブの考え方を取り入れた遊具への更新を図ります。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	乙戸沼公園遊具更新工事	49,302



現在の遊具

【今後の予定】
公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の維持・更新等を推進します。

期待される効果・成果目標等

都市公園等の老朽化が顕在化している施設の改修等による利便性・安全性の向上、また、快適でうるおいのある都市空間の形成に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	中心市街地活性化基本計画管理運営事業（継続）
-----	------------------------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

予算額	9,109	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債		
	その他	政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一般財源		9,109
全体事業費	9,109	事業期間	令和5年度

事業の目的

第2期中心市街地活性化基本計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）における目標達成に向けた課題の整理を行い、第3期計画を策定し、各種事業に総合的かつ一体的に取り組むことで、中心市街地の魅力向上とにぎわい創出を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成30年度 「第2期土浦市中心市街地活性化基本計画」内閣府認定（平成31年3月認定）
令和元年度～ 各種計画事業の実施

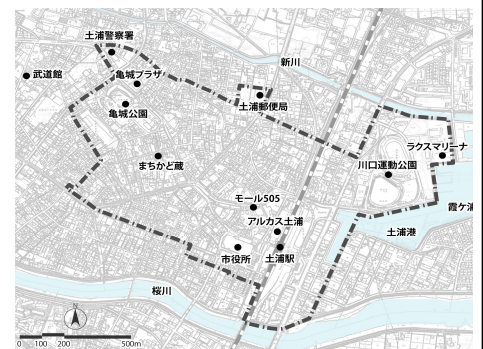
【今年度事業内容】

計画策定に要する費用 (単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	策定委員会委員謝礼等	340
旅費	内閣府等協議	85
委託料	中心市街地活性化基本計画策定委託料	6,693
合計		7,118

計画の管理に要する費用 (単位：千円)

区分	概要	事業費
事務費等	消耗品費等	132
委託料	歩行者及び自転車交通量調査委託料	1,859
合計		1,991



中心市街地エリア図

【今後の予定】

策定した第3期中心市街地活性化基本計画について、毎年度のフォローアップを行い、各種事業の事業効果及び進捗状況を適正に管理しながら、中心市街地の魅力向上とにぎわい創出に向けた取組を進めます。

期待される効果・成果目標等

第3期中心市街地活性化基本計画を策定し、各種事業を適正に管理運営することで、中心市街地の魅力向上とにぎわい創出を図ります。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	まちなか定住促進支援事業	(継続)	担当	都市政策部 都市整備課
-----	--------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		19,276	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	9,638	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
	一般財源	9,638		
全体事業費		86,212	事業期間	平成26年度～令和5年度

事業の目的

中心市街地活性化基本計画に基づき、定住促進を図る支援制度を実施することにより、居住人口増加による活力とにぎわいのある中心市街地の再生を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成26年度～令和4年度で家賃補助234件、購入補助90件を実施しました。
(令和4年12月末までの実績)

期間	家賃補助	購入補助	転用補助
平成26年度～30年度(第1期)	126	76	0
令和元年度～3年度	84	10	0
令和4年度(12月時点)	24	4	0
合計	234	90	0

【今年度事業内容】

(単位：千円)

助成制度	概要	事業費
まちなか賃貸住宅家賃補助	市外から中心市街地の賃貸住宅に住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対し、家賃の1/2(上限2万円)を補助します。	8,276
まちなか住宅購入等借入金補助	市外から中心市街地に住宅を新築又は購入して住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対し、住宅購入借入金の3%(上限50万円)を補助します。	10,000
まちなか住宅転用補助	中心市街地の空きビル等を住宅へ用途変更する者に対し、その転用工事費の1/2(上限50万円)を補助します。	1,000
合計		19,276

【今後の予定】

第2期中心市街地活性化基本計画の計画期間である令和5年度まで実施し、中心市街地への定住促進を図ります。

期待される効果・成果目標等

中心市街地への居住を促進し、中心市街地における活力とにぎわいのあるまちづくりに寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	中心市街地まちなか再生事業	(継続)
-----	---------------	------

担当	都市政策部 都市整備課
----	----------------

(単位：千円)

予算額	18,855	リーディングプロジェクト	2 未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり	
財源内訳	国県支出金	基本目標	3 「しごと」を核とした活力のあるまちづくり	
	地方債		政策方針	1 中心市街地のにぎわいと活力の創出
	その他			
一般財源	18,855	事業期間	令和4年度 ～ 令和5年度	
全体事業費	24,293			

事業の目的

中心市街地活性化基本計画の中で「趣（おもむき）・おもてなしゾーン」として位置付けている中央地区において、既存資源の活用や市街地整備の促進による都市機能の更新など、地域特性を活かしたまちづくり施策の検討を行うことにより、地区全体の活性化を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

亀城モールの活用によるにぎわい創出とその周辺地区における都市機能の更新など、地域特性を活かしたまちづくり施策の検討を進めていくこととしました。

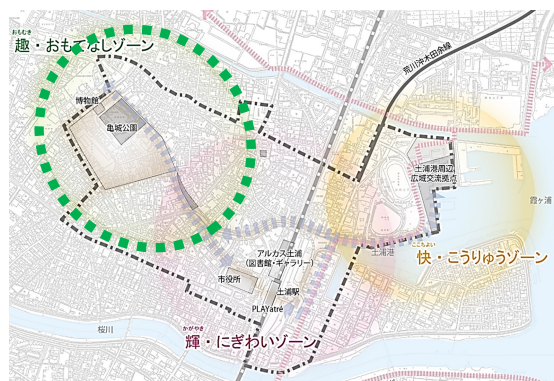
また、地域のまちづくりへの気運醸成を図るため、勉強会やワークショップを開催しました。

【今年度事業内容】

民間事業者への需要調査や地域のまちづくり活動への支援を実施し、モデル事業の推進を図ります。また、亀城モールにストリートファニチャーを設置し、にぎわい創出を図ります。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	中心市街地まちなか再生コーディネート委託料	10,692
工事請負費	日除け施設設置工事費	7,200
負担金補助及び交付金	土浦市まちづくり活動助成金	100
旅費等	事務費(旅費・需用費・使用料及び貸借料)	863
合計		18,855



位置図

【今後の予定】

民間事業者による事業参入の検討、地域のまちづくりへの気運醸成を図り、地区の活性化につながる事業を展開していきます。

期待される効果・成果目標等

中央地区の地域特性や亀城モール等の新たな資源を活用したまちづくり施策の展開により、当該地区の活性化に加えて、中心市街地全体への波及効果が期待されます。

款	土木費	項	住宅費
---	-----	---	-----

事業名	住生活基本計画策定及び公営住宅等長寿命化計画見直し事業 (新規)
-----	----------------------------------

担当	建設部 住宅営繕課
----	--------------

(単位：千円)

予算額	5,830	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	2,560	基本目標 8 効率的な行財政運営による持続可能なまちづくり
	地方債		
	その他		政策方針 2 魅力的な都市環境・住環境の創出
	一般財源	3,270	
全体事業費	14,577	事業期間	令和5年度～令和6年度

事業の目的

市営住宅を含む住宅分野の施策を総合的、計画的に推進するために、住生活基本計画を策定します。また、策定する住生活基本計画が、公営住宅等長寿命化計画の上位計画にあたることから、整合性を図るため、併せて計画の見直しを行います。

事業の概要

【今年度事業内容】

- ◎住生活基本計画策定事業
 - ・計画の目的・背景・課題整理
 - ・住宅施策の理念と目標設定
 - ・住宅施策の展開（具体的計画）等
- ◎公営住宅等長寿命化計画見直し事業
 - ・市営住宅の現状と課題
 - ・市営住宅の活用に係る方向性の検討
 - ・市営住宅維持管理計画 等

◎計画の位置付け

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	策定委員会運営（委員報償等）	140
委託料	住生活基本計画策定委託	3,540
	公営住宅等長寿命化計画見直し委託	2,150
合計		5,830

【今後の予定】

令和6年度の計画策定を目指し、検討を進めます。

期待される効果・成果目標等

策定された住生活基本計画に基づき、住宅分野の施策を推進することにより、市民の住生活の安定確保及び向上促進に寄与します。また、見直しを行った公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の適切な維持管理の推進が図られます。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	救助資器材整備事業	(継続)	担当	消防本部 警防救急課
-----	-----------	------	----	---------------

(単位：千円)

予算額		2,073	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	739	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一般財源	1,334		
全体事業費		2,073	事業期間	令和5年度

事業の目的

複雑多様化する災害に対応するため救助資器材の更新整備を行い、市民の生命・身体・財産を守る消防力の維持・強化に努めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

消防力を充実させるため、各種災害に対応できる必要な資器材を選定し導入してきました。資器材の経年劣化及び耐用期限の経過などにより、適宜更新しています。

【今年度事業内容】

令和5年度はロープレスキュー資器材一式及び化学防護服レベルA 2着を更新します。

(単位：千円)

区 分	事業費
備品購入費	2,073

【今後の予定】

計画的に救助資器材を更新し、消防力の充実を図ります。



ロープレスキュー資器材活用イメージ



化学防護服活動イメージ

期待される効果・成果目標等

救助資器材を更新整備することにより、複雑多様化する災害から市民の生命・身体・財産を守るため、消防力の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	救急資器材整備事業	(継続)
-----	-----------	------

担当	消防本部 警防救急課
----	---------------

(単位：千円)

予算額		1,100	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一般財源	1,100		
全体事業費		1,100	事業期間	令和5年度

事業の目的

感染症に伴う救急活動に対し、計画的に資器材を備蓄し、対応可能な状態を維持します。

事業の概要

【これまでの経緯】

新型コロナウイルス感染症の流行時にも、資機材が不足することなく対応しています。経年劣化もあるため、備蓄量の5分の1を毎年購入しています。

【今年度事業内容】

令和5年度は感染防止対策資器材の5分の1の備蓄量を更新します。

(単位：千円)

区 分	事業費
消耗品費	1,100

感染防止資器材

備蓄資器材一覧【毎年度】		
購入品	購入数量	備蓄量
感染着上	400着	2,000着
感染着下	200着	1,000着
N95 マスク	400枚	2,000枚
ニトリルグローブ	800枚	4,000枚
ゴーグル	50個	250個
タイベック	20着	100着
シューズカバー	1,000枚	5,000枚
人工呼吸器フィルター	60個	300個



【今後の予定】

計画的に備蓄を更新し、新たな感染症にも対応できる状態を維持していきます。

期待される効果・成果目標等

感染防止対策を充実させることにより、市民からの救急要請等に十分に対応できる体制を確保します。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

事業名	常備消防車両更新事業	(継続)
-----	------------	------

担当	消防本部 消防総務課
----	---------------

(単位：千円)

予算額		118,769	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	33,999	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	50,400		
	その他		政策方針	3 全ての災害から市民を守る消防・救急体制の強化
	一般財源	34,370		
全体事業費		118,769	事業期間	令和5年度

事業の目的

更新基準に達している消防車両を計画的に更新することにより、消防力の強化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

消防車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車、救急車の整備を実施してきました。令和4年度は、水槽付消防ポンプ自動車、高規格救急車の整備を実施しました。

【今年度事業内容】

神立消防署に配置している化学消防ポンプ自動車及び荒川沖消防署に配置している高規格救急自動車を更新します。

本車両は緊急消防援助隊茨城県隊として、全国に派遣され活躍することとなります。

(単位：千円)

区分	金額
旅費	98
手数料	30
保険料	18
車両購入費	118,500
重量税	123
合計	118,769



化学消防ポンプ自動車



高規格救急自動車

【今後の予定】

消防力の強化を図るため、引き続き車両更新計画に基づき、整備を推進していきます。

期待される効果・成果目標等

消防力の根幹である、緊急自動車の整備をすることにより、消防力の更なる強化を図り安心安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

事業名	部活動改革推進事業 (継続)	担当	教育委員会 指導課
-----	----------------	----	--------------

(単位：千円)

予算額	13,817	リーディングプロジェクト	—	
財源内訳	国県支出金	9,184	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			政策方針
	その他			
	一般財源	4,633		
全体事業費	25,529	事業期間	令和4年度 ~ 令和7年度	

事業の目的

市立中学校等における生徒数の減少傾向や、教職員の働き方改革を踏まえた持続可能な部活動改革と、生徒の多様なニーズに応じた活動の場の確保を含めたスポーツ・文化活動の質的な向上を図ります。

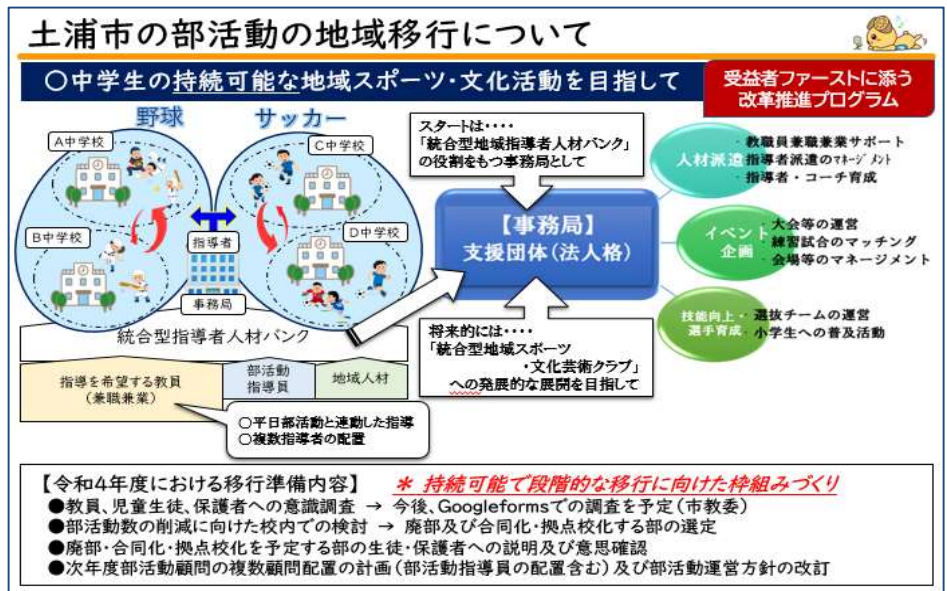
事業の概要

【これまでの経緯】

令和4年度より、専門的な知識や技能を有する部活動指導員を公立中学校及び義務教育学校に配置しています。

【今年度事業内容】

- ・部活動指導員を各学校1名から2名に増員します。
- ・国が令和5年度から令和7年度末までを休日の部活動の地域移行改革推進期間と位置付けたことを受け、休日の部活動を段階的に地域に移行するための枠組み作りを取組みます。



部活動の地域移行について

期待される効果・成果目標等

部活動改革を推進することにより、教職員の働き方改革と児童生徒の持続可能な地域スポーツ・文化活動の実現に寄与します。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

事業名	上大津地区統合小学校整備事業 (継続)	担当	教育委員会 教育総務課
-----	---------------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		102,369	リーディング プロジェクト	1	子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債	85,800			
	その他		政策方針	2	時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	16,569			
全体事業費		102,369	事業期間	令和5年度	

事業の目的

児童数が減少し、学級数が適正規模に満たない小学校がある上大津地区について、「上大津地区小学校適正配置実施計画」(令和5年2月改訂)に基づき、上大津地区に統合小学校を建設します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- 令和2年11月に策定した上大津地区小学校適正配置実施計画に基づき、土浦第五中学校隣接地を候補地として選定し、統合小学校建設に向け準備を進めてきました。
- 近年、候補地周辺の事情が大きく変化し、通学路の安全確保が大きな課題となっていることから、建設候補地を見直すこととしました。
- (仮称)土浦市立上大津地区統合小学校施設整備等検討委員会からの提言内容を踏まえ、改めて候補地を選定しました。

(単位：千円)

【今年度事業内容】

- ◎統合小学校用地鑑定評価
- ◎統合小学校用地測量調査
- ◎統合小学校新校舎整備基本・実施設計業務の実施(プロポーザル方式)
- ◎埋蔵文化財試掘調査の実施

区分	事業費
プロポーザル選定委員会委員報償費	360
統合小学校用地鑑定評価	495
統合小学校用地測量調査委託料	4,664
埋蔵文化財試掘調査委託料	1,450
学校用地購入費	95,400
合計	102,369

【今後の予定】

令和10年度の統合小学校開校を目指し、策定された(仮称)土浦市立上大津地区統合小学校整備基本計画に基づき、統合小学校の建設を推進していきます。

期待される効果・成果目標等

統合小学校を建設することにより、学級数が適正規模になることで、児童の学習環境や生活環境、人間関係の構築など、より良い教育環境の整備と学校教育の充実が図られます。

款	教育費	項	小学校費・中学校費
---	-----	---	-----------

事業名	小学校／中学校長寿命化改良事業	(継続)	担当	教育委員会 教育総務課
-----	-----------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額	100,692	リーディングプロジェクト	1	子どもが夢と希望を持ち、生き生きと育つまちづくり
財源内訳	国県支出金	基本目標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債		2	時代の変化に対応した学校教育の充実
	その他	政策方針	2	時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源		100,692	
全体事業費	1,127,303	事業期間	令和4年度～令和5年度	

事業の目的

令和2年度に策定した学校施設の長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保します。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ◎長寿命化改良工事（令和3年度繰越分：神立小屋内運動場及び特別教室棟、土浦四中校舎棟）
- ◎耐力度調査・実施設計（令和4年度：東小屋内運動場、都和南小校舎棟及び屋内運動場、乙戸小校舎棟及び屋内運動場、土浦二中武道場、都和中屋内運動場）

【今年度事業内容】

【小学校】		(単位：千円)
区分	概要	事業費
乙戸小学校校舎棟及び屋内運動場	長寿命化改良工事実施設計	28,523
東小学校屋内運動場	廃棄物処分・収集運搬委託	1,616
都和南小学校校舎棟及び屋内運動場（1期工）	計画通知等策定申請料、廃棄物処分・収集運搬委託	8,956
令和5年度計		39,095
東小学校屋内運動場（令和4年度繰越分）	長寿命化改良工事（屋上防水、外壁、建具、給排水、ガス及び電気設備等工事）、長寿命化改良工事監理委託	245,496
都和南小学校校舎棟及び屋内運動場（1期工）（令和4年度繰越分）	長寿命化改良工事（仮設校舎建設、屋上防水、外壁、建具、昇降機設置、給排水、ガス及び電気設備等工事）、長寿命化改良工事監理委託	191,083
令和4年度繰越分計		436,579
合計		475,674

【中学校】		(単位：千円)
区分	概要	事業費
土浦第二中学校武道場	長寿命化改良工事実施設計	4,961
都和中学校屋内運動場		6,204
都和中学校校舎棟	長寿命化改良工事基本設計、耐力度調査、アスベスト調査	25,033
土浦第四中学校校舎棟（2期工）	廃棄物処分・収集運搬委託、備品購入	25,399
令和5年度計		61,597
土浦第四中学校校舎棟（2期工）（令和4年度繰越分）	長寿命化改良工事（仮設校舎賃貸借、屋上防水、外壁、建具、昇降機設置、給排水、ガス及び電気設備等工事）	590,032
令和4年度繰越分計		590,032
合計		651,629

【今後の予定】

他の小中学校についても、学校施設の長寿命化計画に基づき、年次計画で長寿命化改良工事の実実施設計及び工事を行います。

期待される効果・成果目標等

長寿命化改良工事を行うことにより、安心・安全で持続的な学校施設となり、児童・生徒の教育環境の維持・確保に寄与します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	家庭教育支援事業 (新規)	担当	教育委員会 生涯学習課
-----	---------------	----	----------------

(単位：千円)

予算額	1,293	リーディングプロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	862	基本目標 1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債		
	その他		政策方針 1 結婚・出産・子育ての切れ目ない支援の充実
	一般財源	431	
全体事業費	1,293	事業期間	令和5年度

事業の目的

課題を抱え、自ら保護者向けの学びの場や相談の場などに足を運ぶことが難しい保護者に、地域の人材を活用した家庭教育支援員が支援を届け、保護者への支援を通じて子供の育ちを支えます。

事業の概要

【今年度事業内容】

地域の子育て経験者をはじめとする地域人材を中心とした「家庭教育支援員」が、保護者の身近な地域において子育てや家庭教育を支援する活動を行います。支援員は各家庭を訪問し、個別の相談に対応したり情報を提供するとともに、専門機関の支援につなげます。

◎支援対象：就学前の幼児をもつ家庭

◎家庭教育支援員の取り組み：①保護者からの相談への対応 ②保護者に対する情報提供 ③専門機関への橋渡し

地域で支える家庭の教育力向上事業 ～訪問型家庭教育支援～

子育てに不安や悩みを抱える家庭に対し、地域の人材を活用した訪問型家庭教育支援等、幅広い支援を行うことで家庭教育の支援体制を構築する
(補助事業 国1/3、県1/3、市町村1/3)

【今後の予定】

訪問型家庭教育支援
今後は毎年度、就学前の幼児をもつ家庭を訪問します。

期待される効果・成果目標等

家庭の孤立化を防ぎ、家庭教育に関わる問題の発生予防や早期発見につなげます。また、保護者の不安や悩みの解消であったり、学びの場などにつながることを支援します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	コミュニティ・スクール導入事業 (継続)
-----	----------------------

担当	教育委員会 指導課・生涯学習課
----	--------------------

(単位：千円)

予算額	3,588	リーディングプロジェクト	—	
財源内訳	国県支出金	基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり	
	地方債		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	その他	一般財源		3,588
	全体事業費			3,588

事業の目的

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校のことで、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みとして、市内全ての市立小・中学校、義務教育学校への設置を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】
令和3～4年度に、新治学園義務教育学校を研究推進校(モデル校)に指定し、保護者・地域住民・学校長等を委員とした「土浦市コミュニティ・スクール推進委員会」を設置して、導入に向けた検討を行いました。

【今年度事業内容】
市内全ての市立小・中学校、義務教育学校へ学校運営協議会を設置し、各学校ごとに年3回程度、協議会を開催します。委員は1校あたり15人以内で、以下のような協議を行います。

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認
- ②学校、家庭、地域の教育課題や教育目標等を協議(熟議)
- ③学校評価についての協議

【今後の予定】
熟議により情報を共有することで、互いに信頼関係を深め、共通の目標・ビジョンを持って、学校運営の改善や、地域の子供たちの健全育成に取り組む体制を築いていきます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律
学校運営協議会規則(教育委員会規則)
学校運営協議会 <合議体>
※合議体・・・複数の構成員の合議によってその意思を決定する組織体
コミュニティ・スクール (学校運営協議会を設置した学校)
市区町村教育委員会
校長
学校運営協議会
学校運営の基本方針
学校運営・教育活動
保護者・地域住民等
協議の結果に係る情報提供の努力義務
情報提供・協議を踏まえた支援活動

期待される効果・成果目標等

学校運営に地域の声を積極的に反映させ、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことが期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	文化財整備・活用事業	(継続)	担当	教育委員会 文化振興課
-----	------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額		6,000	リーディング プロジェクト	2	未来につなげる「地域の宝」を生かしたまちづくり
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	2	未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債				
	その他		政策方針	3	歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	6,000			
全体事業費		6,000	事業期間	令和5年度	

事業の目的

土浦市文化財保存活用地域計画をもとに具体的な文化財の保存活用を進めていくことで、歴史文化を活かしたまちづくりを進めていきます。

事業の概要

【これまでの経緯】
令和3年12月に、所有者より国登録有形文化財建造物「一色家住宅主屋」（西真鍋町）について、建物及び敷地の寄贈を受けました。敷地境界及び道路に面したブロック塀が危険な状況であったことから、令和4年度に撤去工事を行いました。

【今年度事業内容】

- ・歴史的建造物について、筑波大学との連携・委託により利活用構想を策定します。
- ・一色家住宅について、今後の管理・改修・活用に向けた保存活用計画を策定します。
- ・建物等の維持管理に努めます（電気・上下水道・機械警備・樹木剪定など）。

(金額：千円)

区分	概要	金額
需用費	光熱水費	91
委託料	利活用構想・保存活用計画作成、樹木剪定、機械警備など	5,909
合計		6,000

【今後の予定】
令和5年度に作成する利活用構想を受けて、令和6年度に運営方法等について具体的に検討を進める予定です。また、一色家住宅については、令和6年度に整備改修工事設計委託、令和7年度に整備改修工事を行う予定です。



一色家住宅 外観

期待される効果・成果目標等

文化財保存活用地域計画に位置付けた文化財について、保存活用を推進し、文化財を活かしたまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	特別展・企画展事業	(継続)
-----	-----------	------

担当	教育委員会 上高津貝塚 ふるさと歴史の広場
----	--------------------------

(単位：千円)

予算額		1,497	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	1,497		
全体事業費		1,497	事業期間	令和5年度

事業の目的

本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を特別展や企画展の展示を通して広く公開することで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、文化財保護に対する意識の醸成を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成7年度以来、考古資料から本市の歴史を探る特別展や企画展を開催しています。

【今年度事業内容】

第26回企画展「霞ヶ浦の前期古墳（仮）」

会 期：令和5年10月中旬～令和5年12月上旬

内 容：筑波大学と合同で手野町にある王塚古墳・后塚古墳（市指定史跡）の発掘調査を実施してきました。この学術調査の成果を紹介するとともに、二つの古墳が造られた古墳時代前期の霞ヶ浦沿岸社会の様相を探ります。また、調査成果を市民に分かりやすく伝えるシンポジウムを開催します。

(単位：千円)

区分	概要	金額
報償費	シンポジウム講師謝礼	150
需要費	パンフレット印刷等	498
役務費	通信運搬費、筆耕料、保険料	529
委託料	映像撮影委託料	154
その他	旅費、会場借上料等	166
合計		1,497



古墳時代前期の土器

【今後の予定】

調査や研究を継続して行い、成果の分かりやすい公開に努めます。

期待される効果・成果目標等

市民の埋蔵文化財への理解が深まるとともに、さらなる文化財保護の機運が高まる契機となることが期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	博物館大規模改修事業	(継続)	担当	教育委員会 博物館
-----	------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		364,188	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり
	地方債	319,100		
	その他		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	一般財源	45,088		
全体事業費		471,955	事業期間	令和2年度～令和5年度

事業の目的

博物館は開館から35年余が経過し、施設・設備面での老朽化が進んでいることから、令和4年度から5年度にかけて空調設備を中心に改修工事を行い、施設・設備を整備・更新し、機能維持と長寿命化を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

- ・令和3年11月から令和4年5月にかけて、空調設備他改修工事実施設計を行いました。
- ・令和4年7月から博物館を休館し、機械設備・電気設備・建築改修工事、工事監理委託等の契約を同年9月に締結し、工事を進めています。

【今年度事業内容】

令和4年度に続き、空調設備のほか、給排水衛生設備改修、照明設備のLED化、屋上防水改修、多目的トイレ改修などを実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	工事監理、備品移動ほか	11,961
工事請負費	機械設備・電気設備・建築改修	346,398
役員費	収蔵資料の移動ほか	1,346
使用料及び賃借料	施設（仮設事務所）使用料ほか	1,156
備品購入費	館内来館者用備品ほか	2,949
その他	旅費、消耗品費	378
合計		364,188



博物館外観

【今後の予定】

令和5年9月末まで改修工事を行います。工事完了後、仮事務所の移転と収蔵資料の移動を行い、開館準備を経て、令和6年1月に再開館します。

期待される効果・成果目標等

国宝・重要文化財をはじめとした歴史資料を、次世代に受け継いでいける良好な収蔵・展示環境を確保します。また、来館者に対して、安全で快適な施設環境を提供します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

事業名	重要資料公開推進事業	(継続)	担当	教育委員会 博物館
-----	------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額	5,109	リーディング プロジェクト	—	
財源内訳	国県支出金	基本目標	2 未来につなげる魅力あるまちづくり	
	地方債		政策方針	3 歴史・芸術・文化のあふれるうるおいあるまちづくり
	その他	事業期間		令和5年度
	一般財源			5,109
全体事業費	5,109			

事業の目的

特別展やテーマ展を通して、本市の歴史に関する研究成果を広く公開・発信し、郷土の歴史を学ぶ市民の要望に応え、本市の歴史への関心の向上を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】
開館以来、特別展やテーマ展などで、本市の歴史の特徴を紹介してきました。

【今年度事業内容】
◎再開館記念第44回特別展「土浦の名宝」展（仮）
令和6年1月6日（土）～3月17日（日）
再開館を記念し、本市を代表する美術工芸品を中心とした名品の数々を紹介します。

◎第45回特別展「土浦“モノ”語り—資料が語る土浦の歴史—」
令和6年3月23日（土）～5月12日（日）
上高津貝塚ふるさと歴史の広場と共催で、本市の歴史の流れを多様な資料から紹介します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	図録執筆謝礼、記念事業講師謝礼	100
旅費	展示資料調査旅費	10
需用費	図録・ポスター等印刷	2,890
役務費	通信運搬費、手数料、筆耕料等	1,812
委託料	映像追加委託料	297
合計		5,109



土浦幼稚園に伝わる青い目の人形

【今後の予定】
・特別展やテーマ展を通して、市民の歴史や文化財に対する興味・関心を高めます。
・上高津貝塚ふるさと歴史の広場と連携し、市内のみならず市外・県外からも集客が見込める企画を継続します。

期待される効果・成果目標等

本市の歴史に関わる資料を調査研究し、その成果を公開することにより、本市の歴史への理解が深まるとともに、文化財保護の機運も高まることが期待できます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	川口運動公園整備事業	(新規)	担当	教育委員会 スポーツ振興課
-----	------------	------	----	------------------

(単位：千円)

予算額	301,700	リーディングプロジェクト	3	暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり	
財源内訳	国県支出金	150,000	基本目標	1	心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債	135,000			
	その他		政策方針	4	本市の特性を生かしたスポーツ活動の推進
	一般財源	16,700			
全体事業費	305,404	事業期間	令和5年度～令和6年度		

事業の目的

野球場に設置している磁気反転方式スコアボードをフル画面LED方式スコアボードに改修することで、視認性の向上を図ります。
また、同野球場の維持管理のため、各種修繕工事を実施します。

事業の概要

【今年度事業内容】

野球場スコアボードの表示部を「磁気反転方式」から「フル画面LED方式」に改修します。

ダグアウト内の傷んだ床材の補修工事等を実施します。

(単位：千円)

概要	金額
野球場スコアボード改修工事	300,000
野球場ダグアウト床材補修工事	1,205
窓フィルム張替修繕	495
合計	301,700



磁気反転方式(現況のスコアボード)



フル画面LED方式(参考:日立市民球場)

期待される効果・成果目標等

スコアボード改修工事により、競技環境の向上に寄与します。また、表示部を映像等の放映が可能となる「フル画面LED方式」とすることで、スコアボードを野球のみならず各種イベント等で活用することが可能となり、中心市街地活性化への効果が期待されます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	小学校口腔衛生推進事業	(新規)	担当	教育委員会 学務課
-----	-------------	------	----	--------------

(単位：千円)

予算額		486	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金		基本目標	1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針	2 時代の変化に対応した学校教育の充実
	一般財源	486		
全体事業費		486	事業期間	令和5年度

事業の目的

生涯にわたり健康な生活を送るためには、学齢期から口腔の健康を維持することが重要であることから、市立小学校の児童に対しフッ化物洗口を実施します。

事業の概要

【これまでの経緯】

令和4年度に県のモデル事業として都和小学校にて、フッ化物洗口を週1回実施しました。

◎令和4年度

- ・実施校 都和小学校
- ・対象者 都和小学校 第4学年 2学級 59人
- ・予算額 60千円(フッ化物洗口液、紙コップ等消耗品)

【今年度事業内容】

令和4年度に県のモデル事業として実施したフッ化物洗口の結果を踏まえ、都和小学校及び中村小学校の児童を対象に週1回実施します。

◎令和5年度

- ・実施校 都和小学校、中村小学校
- ・対象者 都和小学校 第4学年 2学級 72人
第5学年 2学級 59人
中村小学校 第5学年 2学級 51人
- ・予算額 486千円(フッ化物洗口液、紙コップ等消耗品)

※令和4・5年度のフッ化物洗口の実施結果を検証し、課題の解消等を図っていきます。

【今後の予定】

虫歯罹患率の高い小学校などから、順次実施し、広く対象校を拡大していきます。



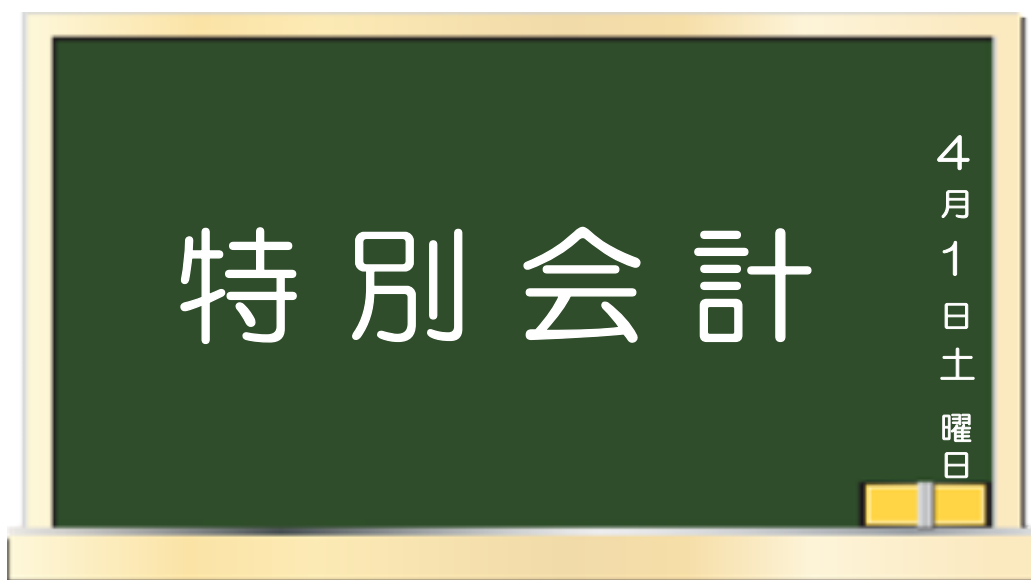
実施状況

期待される効果・成果目標等

学校でフッ化物洗口を集団実施することで、歯の健康に課題を抱える児童を取り残すことなく、健康格差が解消されることが期待できます。

また、児童自身が自分の歯を守る意識を持てるようになることで、歯の健全な発育、さらには全身の健康増進が期待できます。

主要事業の概要



©土浦市

款	保険給付費	項	出産育児諸費
---	-------	---	--------

事業名	出産育児一時金支給事業	(継続)	担当	保健福祉部 国保年金課
-----	-------------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額	54,023	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	36,000	基本目標 6 ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債		
	その他		政策方針 3 誰もが安心して暮らすことのできる医療体制・社会保障制度の充実
	一般財源	18,023	
全体事業費	54,023	事業期間	令和5年度

事業の目的

平成6年度から出産育児一時金の支給により、出産を望む家庭にとって、経済的問題から出産を抑えることがないように妊産婦の経済的負担を軽減してきました。
この度、本市の医療機関における費用平均(約60万円)と支給金額(42万円)の差が大きいことから、支給金額を増額(50万円)し、さらなる出産に対する経済的支援を進めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

平成 6年10月～ 出産育児一時金の創設 支給額30万円
 平成18年10月～ 35万円に引き上げ
 平成21年 1月～ 原則38万円に引き上げ
 (支給額に産科医療補償制度の掛金分3万円上乘せ)
 平成21年10月～ 原則42万円に引き上げ
 令和 2年10月29日 出産費用の負担軽減を進める議員連盟による設立総会に出席、制度の充実を要望



出産費用の負担軽減を進める議員連盟による設立総会の様子

【今年度事業内容】

令和5年4月1日から支給額を引き上げて、50万円とします。

(単位：千円)

区 分	事業費
出産育児一時金支払手数料	23
出産育児一時金負担金	54,000

※令和元～3年の平均値(108件)で算定

過年度実績

(単位：千円)

年 度	件 数	支 給 額
令和元年度	119件	49,836
令和2年度	98件	41,016
令和3年度	108件	45,224

【今後の予定】

安心して出産できるよう制度の周知を図っていきます。

期待される効果・成果目標等

出産育児一時金の支給金額の増額により、安心して子供を産み育てられるまちの実現と子育て世帯の経済的支援の充実が期待されます。

款	地域支援事業費	項	包括的支援事業・任意事業費
---	---------	---	---------------

事業名	認知症施策推進事業	(継続)	担当	保健福祉部 高齢福祉課
-----	-----------	------	----	----------------

(単位：千円)

予算額	11,883	リーディングプロジェクト	—	
財源内訳	国県支出金	6,863	基本目標 6	ふれあいとあたたかさにあふれる福祉のまちづくり
	地方債			
	その他		政策方針 2	生きがいと誇りを持って暮らせる高齢者福祉の充実
	一般財源	5,020		
全体事業費	11,883	事業期間	令和5年度	

事業の目的

誰もが認知症を自分の事として考え、「生活のあらゆる場面で、認知症になってからも、できる限り住み慣れた地域で、普通に暮らし続けていく上での障壁（＝バリア）を減らす『認知症バリアフリー』の取組が推進されているまち、つちうら」の実現を目指します。

事業の概要

【これまでの経緯】

◎国が策定した「認知症施策推進大綱」に沿って、各種施策を実施しています。

◎令和3年度に厚生労働省のモデル事業に採択され、「認知症バリアフリーシティつちうら」のビジョンを策定し、令和4年度から認知症分野における官民連携に着手しています。

【今年度事業内容】

◎本市として、認知症施策に重点的に取り組む姿勢や、目指す姿を広く内外に発信し、「認知症バリアフリーシティつちうら」の実現に向けて、市民、関係機関及び企業等が一体となって施策を進めることで、認知症への関心を高めるとともに、あらゆる世代や立場の方が協力して取り組める体制づくりを進めます。

◎令和4年度から、本市独自で設定した、9月の「つちうら認知症バリアフリー月間」にて、オレンジライトアップ事業や、市民講演会等を開催し、正しい知識の普及啓発を図ります。

◎官民連携セミナー及び認知症サポーター養成講座を拡充し、認知症の人にとってのバリアをなくすための具体的な取組を推進します。

【今後の予定】

◎若年層から認知症の理解を深める機会が持てる仕組みづくりを検討します。



官民連携セミナーの様子



土浦駅自由通路での啓発活動

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報酬等	人件費	2,717
需用費	普及啓発物品購入等	726
委託料	初期集中支援チーム委託料 認知症カフェ委託料	7,779
使用料等	会場使用料、切手代等	661
	合計	11,883

期待される効果・成果目標等

市民、家族、企業等、あらゆる世代や所属で、認知症を自分の事として関心を高め、認知症の人にとって生活上のバリアとなるものを軽減していくことで、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現に寄与します。

款	資本的支出費	項	建設改良費
---	--------	---	-------

事業名	配水管施設整備事業／老朽管更新事業（継続）	担当	建設部 水道課
-----	-----------------------	----	------------

(単位：千円)

予算額		571,000	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	37,000	基本目標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地方債	52,000		
	その他	0	政策方針	4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一般財源	482,000		
全体事業費		571,000	事業期間	令和5年度

事業の目的

生活環境の改善と公衆衛生向上のため、送配水管の計画的な整備を行い、未給水地域の解消を図るとともに、安心・安全な水道水を安定的に供給するための相互連絡管路の充実を図ります。また、更新基準を経過した配水管の計画的な更新を行います。

事業の概要

◎ 配水管施設整備事業	未給水地域の解消と安心・安全な水道水を安定的に供給するための相互連絡管路網の充実を図ります。
【これまでの経緯】	平成27年度～令和4年度 布設延長26,089m
【今年度事業内容】	実施設計委託 L=6,600m、配水管布設工事L=630m 計51,000千円
【今後の予定】	第一次拡張計画に基づく配水管整備は、概ね市内全域に普及しています。今後は、残る地域について、配水管網の整備を推進します。
◎ 老朽管更新事業	施設の強化・耐震化により、漏水事故の未然防止と有収率の向上を図ります。
【これまでの経緯】	平成27年度～令和4年度 布設替延長40,834m
【今年度事業内容】	実施設計委託 L=5,090m 更新工事 L=3,430m 計520,000千円
【今後の予定】	更新基準を超えた铸铁管・鋼管について、計画的な更新工事を推進します。



中都町二丁目地内配水管布設工事

期待される効果・成果目標等

計画的な配水管施設整備と老朽管の更新を行うことで、利用者へ安心・安全な水道水を安定的に供給するとともに、災害時に備えた水の確保と災害に強い施設の確保に寄与します。

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道（污水）整備事業	（継続）	担当	建設部 下水道課
-----	---------------	------	----	-------------

（単位：千円）

予算額		251,600	リーディング プロジェクト	—
財源内訳	国県支出金	45,000	基本目標	7 未来につなげる環境にやさしいまちづくり
	地方債	193,100		
	その他	12,535	政策方針	4 人と自然にやさしい水環境の維持・改善
	一般財源	965		
全体事業費	251,600	事業期間	令和5年度	

事業の目的

計画的に公共下水道を整備することにより、生活環境の向上と霞ヶ浦や河川等の公共用水域の水質保全を図ります。

事業の概要

【これまでの経緯】

昭和41年度 公共下水道の整備着手

昭和48年度 霞ヶ浦湖北流域下水道の流域関連公共下水道に変更

平成21年度 全体計画変更（計画期間は令和7年度まで。計画面積 6,017.2ha）

平成28年度 事業計画変更（期間の延伸）

【今年度事業内容】

- ・管渠整備工事（補助分） L=751m
- ・管渠整備工事（単独分） L=805m

【今後の予定】

令和4年3月末現在の事業計画区域面積に対する整備率は83.1%であり、引き続き、未整備地区（手野町・田村町・沖宿町・右靱地区等）の整備を進めます。



手野町地内 汚水管渠整備状況

期待される効果・成果目標等

市民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与します。

※目標：令和14年度末人口普及率 93.6%

令和4年3月末現在の本市の人口普及率 88.2%
（参考：全国平均 80.6%、茨城県平均 64.1%）

款	資本的支出	項	建設改良費
---	-------	---	-------

事業名	公共下水道雨水排水路整備事業 (継続)	担当	建設部 下水道課
-----	---------------------	----	-------------

(単位：千円)

予算額		628,419	リーディング プロジェクト	—
財 源 内 訳	国県支出金	167,500	基本目標	4 全ての市民が安心して暮らせるまちづくり
	地方債	460,000		
	その他		政策方針	5 激甚化する水害に対応するまちづくり
	一般財源	919		
全体事業費		628,419	事業期間	令和5年度

事業の目的

市街化の進展に伴う降雨時の家屋・道路等の浸水被害（冠水）の解消を図ります。

事業の概要

◎木田余1号雨水幹線整備事業

【これまでの経緯】

- ・ J R 常磐線横断工事委託
- ・ 排水路整備工事

【今年度事業内容】

- ・ 排水路整備工事 L=150m 拡幅用地取得

【今後の予定】

- ・ 木田余ポンプ場 ポンプ設置工事

◎神立菅谷雨水幹線整備事業

【これまでの経緯】

- ・ 平成25年度に事業認可を受けた「神立菅谷雨水幹線」について雨水幹線及び調整池整備工事を実施

【今年度事業内容】

- ・ 排水路整備工事 □3,400mm×2,100mm L=50m
- ・ 調整池整備工事（残土搬出）

【今後の予定】

- ・ 雨水幹線及び調整池整備工事



神立菅谷雨水幹線整備状況

期待される効果・成果目標等

排水路整備工事を行うことにより、大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

款別主要事業一覧表

事 業	頁
総務費	
水郷筑波サイクリング環境整備事業	20
TX延伸事業	21
公共施設等再編・再配置推進事業	22
RPA導入事業	23
地域公民館整備事業	24
女性のための寄り添い支援事業	25
防災意識普及啓発事業	26
ふるさと土浦応援寄附事業	27
民生費	
重層的支援体制整備事業	28
手話普及事業	29
高齢者補聴器購入費助成事業	30
子ども・子育て支援事業計画策定事業	31
産前・産後家事ヘルパー派遣事業	32
出産・子育て応援事業	33
マタニティタクシー利用料金助成事業	34
公立保育所民間活力導入事業	35
認定こども園土浦幼稚園整備事業	36
衛生費	
各種予防接種事業(子宮頸がん予防接種)	37
若年がん患者等の在宅療養支援助成事業	38
清掃センター維持管理事業	39
最終処分場維持管理事業	40
最終処分場埋立地基幹整備事業	41
農林水産業費	
土浦ブランドアッププロジェクト推進事業	42
日本一のれんこん産地推進事業	43
畑地帯総合整備事業(虫掛地区)	44
かんがい排水事業(木田余地区)	45

事 業		頁
商 工 費		
土浦全国花火競技大会開催事業		46
土 木 費		
橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業		47
道路新設改良事業		48
都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業		49
地域公共交通確保維持改善事業		50
都市計画マスタープラン策定(見直し)事業／立地適正化計画策定(見直し)事業		51
スマートインターチェンジ整備事業		52
歴史的風致維持向上計画推進事業		53
神立駅西口地区土地区画整理事業		54
インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業		55
田村沖宿線延伸道路整備事業		56
荒川沖木田余線(Ⅱ期)整備事業		57
木田余神立線街路事業(Ⅱ期)		58
都市公園等長寿命化事業		59
中心市街地活性化基本計画管理運営事業		60
まちなか定住促進支援事業		61
中心市街地まちなか再生事業		62
住生活基本計画策定及び公営住宅等長寿命化計画見直し事業		63
消 防 費		
救助資器材整備事業		64
救急資器材整備事業		65
常備消防車両更新事業		66
教 育 費		
部活動改革推進事業		67
上大津地区統合小学校整備事業		68
小学校／中学校長寿命化改良事業		69
家庭教育支援事業		70
コミュニティ・スクール導入事業		71
文化財整備・活用事業		72
特別展・企画展事業		73
博物館大規模改修事業		74

事業		頁
重要資料公開推進事業		75
川口運動公園整備事業		76
小学校口腔衛生推進事業		77
特別会計・企業会計		
出産育児一時金支給事業		79
認知症施策推進事業		80
配水管施設整備事業／老朽管更新事業		81
公共下水道(汚水)整備事業		82
公共下水道雨水排水路整備事業		83



©土浦市